

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.12 2006年8月号

早いもので、「毎日楽しく」を始めてから今月で1年になります。評判がよくなければひっそりとやめるつもりでしたが、これもみなさんのおかげです。本当にありがとうございます。

さて、今月は私が尊敬する経営者の中から京セラ名誉会長 稲盛和夫氏の「人生の方程式」をご紹介します。いろいろなところで書かれているので、ご存知の方も多いかもかもしれません。京セラを創業して間もないころ気づいたようで、稲盛氏は長年この方程式に基づいて仕事をされてきたそうです。

$$\text{人生・仕事の結果} = \text{考え方} \times \text{熱意} \times \text{能力}$$

「能力」は多分に先天的なもので個々人が全面的に責任を持てるものではありませんが、点数で表せば0点から100点まであるそうです。また、「熱意」は努力と言い換えることができるそうですが、やる気のない無気力な人から懸命に努力する人まで個人差があって、やはり0点から100点まであるそうです。たとえば頭が大変よくスポーツもできるAさんの能力が90点、でもこの人はそれを過信して努力を怠っているために熱意が30点だとすると、90点×30点で2,700点になります。一方能力は60点でも、それだけがんばらなければと努力するBさんの熱意が90点だとすると、60点×90点で5,400点となり、能力にまさるAさんの倍の結果がでるわけです。

そして3つの要素のうち最も重要なのが「考え方」だそうです。考え方というのは生きる姿勢と言い換えることができるもので、点数はマイナス100点からプラス100点まであるそうです。たとえば能力も熱意もまったく同じ70点のCさんとDさんの2人がいて、Cさんは考え方がプラス50点、Dさんは考え方がマイナス50点だとすると、Cさんの人生・仕事の結果はプラス245,000点に対して、Dさんはなんとマイナス245,000点になってしまうわけです。考え方がマイナスというのは、世をすね、人を妬み、人をそねみ、まともな生きざまを否定するような生き方をすることだそうです。そういう人は能力や熱意があればあるほど、人生や仕事において無残な結果を残すと稲盛氏は言います。

少し前に流行ったポジティブシンキングはやはり重要なんですね。

